

市議会だより

はまだ

Vol.42

平成28年(2016年)9月1日発行



島根県立大学生の議場見学（7月5日）



大学内の期日前投票所

6月定例会 主な記事

- 21人の議員が論戦（個人一般質問）…………… 6
議会報告会を開催しました……………13～14

平成28年6月定例会

平成28年6月定例会は6月17日に招集され、7月4日までの18日間の会期で開かれました。今定例会で提出された議案は14件でした。

委員会審査の様子は2ページから3ページに、採決の結果は4ページに掲載しています。個人一般質問には、21人が立ちました。論戦の様子はそれぞれ、6ページから掲載しています。

指定管理期間は 施設内容から決定!!

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された同意案件1件、議案2件について審査を行いました。

このうち「公の施設に係る指定管理者の管理の期間の削除に関する関係条例の整備に関する条例の制定について」は、他市の定めや指定管理契約の考え方について質疑があり、期間を条例で定めているのは浜田市だけで、契約の期間決定には施設内容を含め提議するとの答弁がありました。また、全ての指定管理が含まれているか、譲渡決定までの期間が短くなるのか、途中解約の場合の

どうなるのかなどの質疑があり、71全ての指定管理が条例に含まれる。廃止して地元譲渡の可能性や、不測の事態では既存条例の定めで対応できるとの答弁がありました。



無償譲渡された旧久佐小



取得予定の消防車

「財産の取得について（消防ポンプ自動車）」は、消防車の仕様と更新の考え方、配備先について質疑があり、3トントラック

に800ℓの水を積載し既配備車両と同等の仕様、緊急消防援助隊の登録可能年数20年が更新の目安であり、三隅出張所に配備するとの答弁がありました。

1件の同意案件は同意、2件の議案についてはそれぞれ採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

不燃ごみ処理場の ドーザーショベルを更新

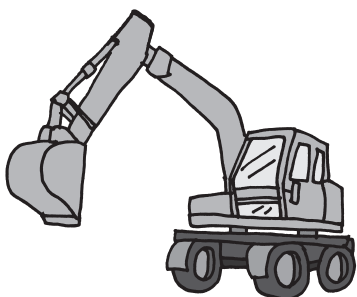
— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会に付託された議案2件について審査を行いました。

「浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について」は、委員から、今回の改正の根拠となる政令等は、従つべき基準なのか、参酌すべき基準なのか、また、加えられた附則のそれぞれの内容についての質疑がありました。執行部より、従つべき基準であるが、当該基準に従う範囲内での上乗せ規制は可能とのことや、附則としての、職員配置に係る特例についてもそれぞれ詳細な説明がありました。また、市にとって改正の必要性、保育の質の低下への質疑があり、執行部より、現時点では市に地域型保育施設はないものの改正しておくべきとのことや、保育の質の低下については、許容範囲内での改正と認識しているとの答弁があり、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。

また、「財産の取得について（ドーザーショベル）」は、委員から地域性・

浜田市への貢献度などを考慮した行政運営ができないのか等、契約の相手方の選定方法や経緯についての質疑があり、執行部より、仕様には排ガス規制などをつたい、市内業者、準市内業者による指名競争入札を行ったとの説明がありました。また、現在使用している機械の耐用年数等の質疑があり、執行部より、平成14年に購入したもので、耐用年数である8年をはるかに超えており部品調達もままならないとの答弁があり、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。



老朽化が進む 公共施設の扱いは？

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された議案3件、陳情1件について審査を行いました。

「浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について」は、老朽化が進むものは随時廃止していくと公共施設再配置実施計画にあるが、そのような考えかとの質疑があり、耐用年数が経過したもののから解体および譲渡を検討していくとの答弁がありました。また、解体を検討するとなつていくが、U・ターナー者へ提供する空き家として利用できないかとの質疑

があり、木田一般住宅は老朽化が進んでおり、利活用するためにはかなりの修繕費が必要で、解体を検討しているとの答弁がありました。

議案3件についてはいずれも可決すべきものと決しました。

環境・農業・観光交流の 補正予算で質疑！

— 予算決算委員会 —

予算決算委員会に付託された予算議案1件「平成28年度浜田市一般会計補正予算（第1号）」について審査を行いました。

歳入については分担金及び負担金、繰入金、諸

収入の財源の割合に質疑がありました。

歳出については衛生費の「もったいない推進事業」で補助対象を100個以上のイベントに限定としているが、目的はごみの減量化なので少数のイベントも対象にする考えはあるのか、現在、食器の提供元は県外であるが、地元での起業に向けた支援の考え方を問う質疑がありました。



導入されたリユース食器

執行部からは、食器を借入れる際の費用を勘案して100個以上としているが、ごみの削減の観点から少数のイベントについても検討したい、現在、市内の方から起業に



あんぽ柿

向けた相談があり、先進地視察など準備を進めておられる段階である、との答弁がありました。

農林水産業費の「農業拠点施設整備補助事業」については、浜田の顔である柿（現在産出額5500万円）を1億円にするにはあんぽ柿だと思つが、他に何か考える必要があると思つとの質疑に、執行部からは、生果を「秀」に限定した出荷で単価を上げ、あんぽ柿の生産を増やし、利益を確保していくとの答弁がありました。また、他の委員から、国の事業が不採択となり規模縮小で市の負担額がどうなったのか、との質疑には、執行部から、当初は国の「強い農業づくり」の補助金申請をしたが、不採択に



利用促進が待たれる浜田道

なり、金額を下げて県事業にした。昨年末に国の新規事業「産地パワーアップ事業」ができて、申請して当初の計画1億5000万円余りの予算に戻した。

内訳は国が2分の1で、残りの6分の1、上限1200万円が浜田市の負担であるとの答弁がありました。

商工費の「浜田道利用促進誘客事業」では卓上プリンタの貸与施設と実施時期、割引制度は施設任せなのか、貸与だけでなく市の踏込んだ補助を考えなかったのか、という質疑に、執行部からは当初、浜田道の割引助成も考えたが、市の負担がかなり高くなる、卓上プ



採決の様子

リンタの貸出で少しでも誘客につながればと思う、また、高速道における新たな割引の創設を要請している、との答弁がありました。

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成28年6月定例会での議案等の賛否の公開(本会議)

議案番号	議 案 名	賛成	反対
承認第1号	専決処分の承認について（浜田市税条例等の一部を改正する条例）	23	0
承認第2号	専決処分の承認について（平成27年度浜田市一般会計補正予算（第6号））	23	0
議案第56号	公の施設に係る指定管理者の管理の期間の削除に関する関係条例の整備に関する条例の制定について	23	0
議案第57号	浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について 反対：西村	22	1
議案第58号	浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第59号	財産の取得について（ドーナショベル） 反対：澁谷	22	1
議案第60号	財産の取得について（消防ポンプ自動車）	23	0
議案第61号	市道路線の廃止について（大麻13号線）	23	0
議案第62号	市道路線の認定について（国府251号線外）	23	0
議案第63号	平成28年度浜田市一般会計補正予算（第1号） 反対：森谷	22	1
同意第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
同意第4号	浜田市固定資産評価員の選任について	23	0
発議第2号	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出について	23	0
発議第3号	議会改革調査検討特別委員会の設置について	23	0

平成28年6月議会の主な可決事業

新規・熊本地震被災地支援事業

平成28年熊本地震により被災した自治体への短期的な、職員派遣及び被災地への支援物資の運搬に係る経費。

【主な内容】

○支援物資（阿蘇市）	102万円
○職員派遣（熊本県内各所）	519万円
合 計	621万円

新規・もったいない推進事業

リユース食器普及させ循環型社会の構築を推進するため、リユース食器活用に係る費用を助成する。

【主な内容】

○リユース食器利用促進事業補助金	
補助率：1/2	
限度額：1件あたり10万円	
合 計	100万円

新規・熊本地震被災者支援事業

平成28年熊本地震の被災者が市内で居住した場合に当面の生活費を支給することで、被災者の生活再建を支援する。

【主な内容】

○生活支援金 20件（うち単身世帯10件）	
1世帯あたり 20万円（単身世帯10万円）	
※世帯員3人目以降から3万円/1人を加算	
合 計	360万円

新規・きのこの里づくり事業

県の新規補助制度を活用し、後継者不足や生産整備等の老朽化に直面するきのこ産業に対する支援を行い、生産量の増加及び後継者不足の解消を図る。

【主な内容】

○負担割合：県1/3、市1/6、農業者1/2	
内訳 県支出金	389万円
市補助金	195万円
合 計	584万円

議案に対して議員が討論を行いました



賛成討論
足立 豪議員
必要な保育の質は確保されており、多様化する保育ニーズに対応できる法整備が必要。

反対討論
西村 健議員
保育の質の低下を招き、保育士の育成・確保という関係者の願いに背を向けるもの。

議案第57号「浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について」



反対討論
澁谷 幹雄議員
多額の寄付者名誉市民坂根正弘氏が育て上げたコマツから建設機械を購入するのが礼節だ。

議案第59号「財産の取得について（ドーザーシヨベル）」

議会改革調査検討特別委員会の設置について



委員長	牛尾 博美
副委員長	柳楽真智子
	足立 豪
	岡野 克俊
	森谷 公昭
	笹田 卓
	布施 賢司
	田畑 敬二
	平石 誠
	澁谷 幹雄
	原田 義則
	牛尾 昭

議会改革に関する事項について、調査及び検討を行うことを目的とし、「議会改革調査検討特別委員会」が設置されました。

個人一般質問 21名が論戦



個人一般質問は限られた字数で編集しているため、
くわしい内容については議会HPでもご覧いただけます。

ゆうひパーク浜田が 未来永劫存続するために



足立 豪

質問 全国で5番目に開設されたゆうひパーク浜田の入込客とレジ通過客数を問う。

産業経済部参事 入込客数は約38万人、レジ通過客数は約70万人。

質問 アクアスに肩を並べるくらいこの地域では集客ができる重要な施設であるが、浜田三隅道路が全線供用開始されたときの売上高や営業利益は、どの程度増加すると見込んでいるか問う。

産業経済部参事 5%、10%増加すると見込んでいる。

質問 ゆうひパーク浜田と浜田市の人的関係について問う。

産業経済部参事 840万円を出資しており、副市長が監査である。

質問 ゆうひパーク浜田は、固定費の圧縮に努め

るなど最大限努力をされているが、人口減少と超高齢社会、過疎地域社会に存することの課題について、浜田市の考えを問う。

産業経済部参事 高齢者を意識した食事やお土産品そろえの充実に努められている。今後は、地域交流拠点としての重要性が高まっており、魅力ある施設として浜田市も積極的にPRに努めていく。

その他の質問 ○総合支援事業について



ゆうひパーク浜田

浜田開府400年への ロードマップは！



牛尾 昭

質問 市長の姿勢を問う。

市長 平成31年を単なるイベントで終わらせず、まず、城山公園を整備し平成32年頃の開館を目指し仮称浜田歴史神楽資料館整備事業に取組むなど、次の時代に歴史文化の基盤を整えたい。

質問 教育長にも問う。

教育長 この機会に、市民や児童生徒に浜田の歴史や文化を伝える講演会などで広めたい。

質問 いつ開催組織を立ち上げるのか問う。

産業経済部長 平成29年度に立ち上げ、市民や関係団体と協働したい。

質問 萩・益田など関係市との連携を問う。

産業経済部長 4市連絡会もあり、検討したい。

質問 棚倉、川越、館林、津山との連携を問う。

教育長 それぞれどの

ような連携ができるか協議する。今年秋、初雁温知会を迎え、開府記念プレ講演会を開催する。

質問 歴史神楽資料館の名称について、賛否があるが市民の声をじっくり聞くべきと思うが問う。

産業経済部長 広く意見を聞き決定したい。

その他の質問 ○火葬場の見直し案の市民への説明について

○観光ボランティアガイド育成について



浜田城本丸復元 CG
復元：三浦正幸 制作：株式会社エス

後野産廃処分場建設

反対運動のその後は？



岡本 正友

質問 後野町産業廃棄物処分場建設反対運動の経緯と争点を問う。

市民生活部長 昭和63年に災害ごみの埋立て処理後の返却を受けた土地の地権者が、産業廃棄物処理施設の建設計画を示したことから地元住民による反対運動が起こったものである。浜田市の責任は、埋立てによって消失した、里道の復元である。

質問 平成15年から12年経過したにもかかわらず、終息できない理由を問う。

市民生活部長 里道の復元の規模及び内容で、地権者と地元住民の合意ができない状況から現在に至っていたが、昨年末にやっと協議が整った。

質問 紛争中の難しい状況において、地権者と地元住民との里道復元の協議がなされた。境界及び



産廃処分場建設予定地

里道の確認のほか、復元の工法においても了承するなど良好な協議であったにも関わらず、早急に設計による合意確認や補正予算計上を行うなどの方向性を示さない状況には、執行部の怠慢を感じているがその認識を問う。

市民生活部長 指摘に対して十分反省し、お詫びしたい。今後は、両者の合意形成を取り付け、次回定例会に補正予算計上をするとともに、早急に復元を図っていく。

防災・減災は日頃からの

備えが大事だ！



野藤 薫

質問 熊本地震は活断層による地震で甚大な被害が発生した。浜田市の活断層の認識、対策を問う。

総務部長 浜田市地域防災計画において、浜田市沿岸の地震の断層は国分、浜田、長浜の各断層周辺で最大震度7を想定し、また弥栄断層帯は最大震度6を想定している。市民の皆さんには各家庭に配布している津波ハザードマップに断層の位置と地震の規模を記載し周知を図っている。

質問 熊本地震後の浜田市への耐震診断や各種補助制度への問合せの有無を問う。

都市建設部長 問合せは増えていないが「浜田市木造住宅耐震化等促進事業」の広報・啓発に努める。

質問 放課後児童クラブ



災害ごみ仮置き場（阿蘇市）

の現状と支援策を問う。

健康福祉部長 本年5月現在1年生から6年生まで710名の登録で、各クラブともエアコン、TV、冷蔵庫等設置している、国の基準は「1人当たり1・65㎡以上確保する」とあり、浜田市は基準をクリアしている。

質問 本年度3児童クラブで改修工事と聞くが、運営への支障等を問う。

健康福祉部長 夏休み等に影響が出ないよう、検討し配慮したい。

いいスタートが切れたのか？

（ふるさと寄附）



平石 誠

質問 昨年度もベストテン入りした浜田市だが、今年度の状況はどうか？

産業経済部参事 6月12日までで、8175件、約1億6300万円の寄附をいただいている。昨年同時期と比較すると、熊本地震に対する寄附が増加しているためか若干の出遅れと感じている。

質問 これまでいただいた寄附はどういったことに活用されたのか？

産業経済部参事 主な事例として、小中学校の図書整備、小学校校庭の芝生化事業、東日本大震災の復興支援、旭小学校新築事業等に活用した。

質問 本年4月に設立された「浜田ふるさと寄附事業者連携会」との連携により更なる促進を図るべきと思うがどうか？

産業経済部参事 業務委託等により連携・協働しながらPRに努め、増加を図る。

質問 寄附を増やすための方策は？

産業経済部参事 季節ごとのウェブサイト上での特集の展開、過去の寄附者に対しSNSを活用した情報発信等ウェブを通じてアプローチを図る。また、関東圏・関西圏で開催されるイベントに積極的に参加し、新規寄附者の開拓とリピーターの獲得を図っていく。



ふるさと寄附のウェブサイト

出所者の再チャレンジを支えるまちづくり



小川 稔 宏

質問 刑を終え出所した人たちの人権を守り、再犯防止の観点から、島根あさひ社会復帰促進センター設置の理念を活かす取組について問う。

副市長 本人の強い意志や行政機関の働き掛けのみならず地域社会の理解と協力が不可欠であり、関係機関・団体との幅広い連携によって市民全体で更生保護を推進する。

質問 就労支援センターなど社会復帰のための中間施設設置に向けた研究会の立上げについて問う。

旭自治区長 住民の理解を得られる旭自治区なら可能と考え研究会立ち上げの協議を重ね、早い時期に設立を予定している。

質問 農林水産、地場産業の担い手として出所者の再チャレンジを支えるまちづくりを検討する専門部署設置について問う。

産業経済部長 体制づくりが可能かどうか関係部署と検討したい。

質問 市にとってJR三江線の経済的効果は小さくない。活性化協議会との連携、観光交流人口拡大を図る利用促進と活性化支援について問う。

地域政策部長 市が単独で補助制度を実施することとは困難であるが、三江線の重要性は十分認識しており効果的な支援のあり方を研究したい。



なくてはならない地方鉄道

ミニデイサービスは効果のわかる取組みを！



柳 楽 真智子

質問 タッチパネル式認知機能評価法を使って、無料で認知症検査をおこなっている自治体がある。夫婦そろって認知症予備軍と診断されたが、ミニデイサービス（予防教室）に通うことで正常値に改善され、ここに通う人のほとんどが改善しているとのこと。浜田市でもこの事業により改善されたかを検証するなど、効果の確認が大事だと思いが、考えを問う。

健康福祉部長 ミニデイでは、認知症予防や運動機能維持向上の効果を期待している。参加していなければ運動機能などの低下が著しく生じたであろうというケースはいくつも見受けられた。効果の検証は大切なことなので、今後取組んでいく。

質問 すでに避難所運営マニュアルを作成して公民館へ配布し、それぞれの施設に応じたマニュアル作成を依頼しているとのことだが、マニュアルの枚数が多く、見にくいと感じた。もう少し簡単に誰もが分かりやすいものにする必要があるのではないか。

総務部長 数ページにまとめた、冊子のようなものが分かりやすいと思う。今後改善していきたい。

その他の質問 食品ロス削減について



タッチパネル式認知機能評価機器

地区災害対策本部長は非常勤の区長か？



田 畑 敬 二

質問 浜田市水防計画によると災害時の避難勧告等は、非常勤の区長が発動するのか問う。

総務部長 浜田市水防計画は、水防活動について規定しており避難勧告等の発令の判断基準は、地域防災計画の避難勧告等の判断・伝達マニュアルに規定しており、避難準備情報の発令については、各地区災害対策本部長に権限が与えられているため自治区長が判断し安心安全課へ報告することになっている。

質問 まちづくり交付金が前年度対比75%とされ、まちづくり委員会では、交付金から地域活動費は、25%削減される。小規模高齢化集落では、従来の事業の中止やコミュニティ活動が後退している。どんな手法で元気に

な浜田づくりをするのか問う。

地域政策部長 交付金は、25%程度減額であるが上乗せ部分として、広域的な活動費の確保や、地域課題を解決のための新制度を設けている。

質問 都川地区は146世帯、5集落で構成、全集落が高齢化率60%超えて、独居世帯・高齢者世帯は95世帯であるが、この現状認識を問う。



崩壊した集落の空き家

人口減少及び経済活性化に 繋がる対策は



道下文男

今こそ、浜田市民の 若者に支援を！



笹田卓

人に寄り添った 障がい者差別解消条例を



芦谷英夫

質問 人口減少に歯止め

がかからない。U・ターン者や留学生生の受入れ、若者の流出対策、併せて経済の活性化へ「おもてなしの向上」「あいさつ運動」の推進がこれらの人口減少対策の土台であり、幟旗を作成する

とか、優良企業表彰制度を設けるとか継続的な推進強化に取組むべきと考えるが、市の所見を問う。

市長 現在、市において

人口減少を最大の課題と位置づけ、あらゆる対策に取組んでいる最中である。基本的には、産業振興による雇用の場の確保が一番と考え、併せて従業員の処遇改善を強く要望するものであり、議員の意見も踏まえ、これまでに以上を力を入れて取組む所存である。

産業経済部長 これらの

運動の推進は、交流人口

の拡大あるいは「人の魅力あふれる浜田市」創りに非常に重要なことと考え、引き続き取組むこととしている。そのうえで、熱心に取り組む企業表彰制度は有効な手段と考え、是非とも検討したい。

その他の質問

○市内高校の「しまね留学」推進強化について
○浜田港の利活用促進の経済活性化について



魅力あふれる浜田市を

質問 中学3年生までの

医療費助成制度を高校3年生まで拡充するつもりはないか？

市民生活部長 しばらく

は現行制度を継続したい。



未来のある浜田っ子へ医療制度拡充を！

質問

浜田市雇用促進住宅を子育て世帯が住みやすいように家賃補助などの支援策が必要では？

副市長 重要なことなので前向きに検討する。



今こそ浜田の若者に支援を！

質問 今こそ、浜田市民

の若者に様々な（出産、医療、保育、教育、住宅、雇用）支援が必要だと考えるが？

市長 若い人に浜田に住

みたくなるような、住んでよかったと言われるような、まちにしていきたい。

質問 障がい者差別解消

条例制定の検討状況、特色ある条例制定、具体的な取組みを問う。

健康福祉部長 委員、ス

ケジュールなどを検討しており、障がい者団体、福祉、就労、教育など関係機関の意見を十分反映し実効ある条例としたい。

質問 労働安全衛生法の

改正により、ストレスチェック制度が始まるが、活用方法、職場環境の改善などについて問う。

総務部長 検査結果によ

質問 開府400年事業

市誌編纂の体制づくりに向け、歴史文化研究センター設置の考えを問う。

教育長 専門職の分散よ

り1ヶ所に集め、連携して文化財行政を担当することが現実的であり、研究機関の体制が整備できるよう努める。

質問 障がい者差別解消

条例制定の検討状況、特色ある条例制定、具体的な取組みを問う。

健康福祉部長 委員、ス

ケジュールなどを検討しており、障がい者団体、福祉、就労、教育など関係機関の意見を十分反映し実効ある条例としたい。

質問 労働安全衛生法の

改正により、ストレスチェック制度が始まるが、活用方法、職場環境の改善などについて問う。

総務部長 検査結果によ



元気あふれる職場は職員の健康から

産廃適正処理の取組が 周知不足ではないか



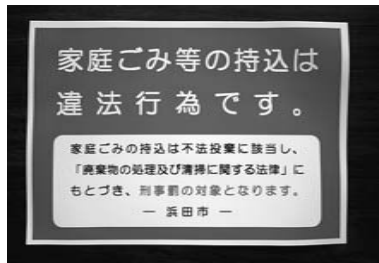
佐々木 豊 治

質問 当市では今年から産業廃棄物適正処理の取組が強化されているが、市民への周知が不足していたのではないかと問う。

市民生活部長 事業者に対する周知は相応のものと考えるが、ごみの排出者である市民への周知は十分ではなく、必要であったと感じている。

質問 今回の規制によりごみ箱を設置しているコンビニやスーパーなどが、持参ごみの縮小に取組むなど、特に大きな影響を受けていると認識している。そのあたりがポイ捨てや不法投棄となり、また、ゆうひパークなど他の施設に捨てられるなどの状況も想定できるがどうか。

市民生活部長 ごみのポイ捨てが増加したとの声は事業者からも聞いてお



家庭ごみ持ち込み禁止ステッカー

り、大変心配している。また、不法投棄の可能性は否定できないので防止に努めたい。市では家庭ごみ持ち込み禁止のステッカーを作成し、コンビニやスーパーなどに配布しており、今後は広報紙などを活用し市民への周知を図りたい。ゆうひパークの状況は把握しておらず、今後、同様の対応を行う。

その他の質問 ○市民のシングルペアレント支援について

農業が持つ景観に 注目すべきではないか



串 崎 利 行

質問 農村は今、後継者不足で厳しい状況の中、農家が農業をやめたら、豊かな里山が森に帰る。景観形成や多面的機能等にも注目すべきと感じるが考えを問う。

産業経済部長 国の多面的機能支払制度を活用し、農村集落に対して推進を図っている。

質問 日本の棚田百選に認定された棚田に対しての支援を問う。

産業経済部長 旭自治区では、耐久性畦畔の改良を行い、棚田保全景観の形成を図っている。

質問 農業と障がい者福祉の連携ができれば、農業と障がい者福祉の両方に明るい人材確保になる。農作業によって、精神状況、身体が良くなったアンケートの結果もある。また、医療費の支出



日本の棚田百選に認定された都川の棚田

が少ないデータもあり、現代社会が抱える問題を解決する力も秘めていると感じるが考えを問う。

産業経済部長 農業をすることで、障がい者の雇用の方が広がる。社会の一員として活躍できるよう支援する。

質問 広葉樹の利活用について問う。

産業経済部長 広葉樹の利活用や製品開発の取組に対して、必要な支援を島根県や関係機関と連携し、検討している。

梅雨時期は防災・減災の 備えを点検すべきだ



布 施 賢 司

質問 市長は、本市での防災・減災の取組をどう判断されているのか問う。

市長 総合防災訓練や防災出前講座を通じて取り組んでいるが、まだまだ十分ではないので、一層力を入れて取組む。

質問 避難所運営マニュアルの作成と、備蓄品の状況を問う。

総務部長 運営マニュアルは平成26年度に作成済みであり、備蓄状況は避難所生活者に対して概ね一日分は備蓄している。

質問 避難所生活が長期になれば、間仕切りは必須となるが、災害発生時における段ボール製品に関する協定内容を問う。

総務部長 設営等のために必要となった場合、段ボール製品(簡易ベッド、シート、間仕切り、簡易トイレ等)を3日程度で



段ボール製の簡易ベッド

赤ちゃん同伴用や多機能 トイレの整備促進を



江角 敏和

質問 公共トイレへ、ベビチェアや着替え台の設置増を望む声がある。設置状況と整備方針を問う。

都市建設部長 浜田駅舎

中央・三隅図書館、国府・旭小学校や、市役所本庁の1階トイレにベビチェア等を整備している。今後、市管理の既存施設へも、改修時に合わせる等、優先度の高いものから整備するよう検討する。

質問 車イスやオストメイト（人工肛門・人工膀胱の装着者）の方が使用できるトイレ整備の状況と中長期の計画的な整備方針を問う。促進を図る条例制定の考えも問う。

都市建設部長 答弁した新施設には、車椅子の方や高齢者、お子様連れの方達が利用できる多目的トイレを整備している。

オストメイトの方達が利用できる施設は、浜田駅舎、旭支所の都市公園、本庁1階の身障者用トイレだが、古い施設に多目的機能は満たされていない。今後は優先度の高いものから順次整備するよう検討する。整備をする際には当然、中長期の計画が必要となる。条例制定は検討・研究課題としたい。

その他の質問 ○ミニデイについて
○路地舗装について



キッズ対応や多機能トイレ

キッズ対応や多機能トイレのパネル

県外への観光PRの 取組強化策は!?



岡野 克俊

質問 最近特に力を入れている誘客事業を問う。

産業経済部長 昨年は「広浜鉄道今福線シンボジウム」「浜田でコーヒーを楽しむ会」、今年2月には「浜田港マリン大橋リレーマラソン」に124名の参加者を集め、市外から543名もの参加者があり、宿泊や打上げ等での経済効果があったと思われる。

質問 収容3万人を超えるマツダスタジアムに市長自らが向いて、佐々岡投手コーチや浜田PR大使らとともに場内一周、始球式を行い、温泉や観光施設のPRを行なうのはどうか。

産業経済部長 直近では、一昨年に市町村PR隊として地元の物産のブースを出店し、今年は浜田PR大使の山崎ていじ

さんが試合前の国歌斉唱を行った。今後も効果的な方法を検討したい。

質問 国内外へ石州半紙の紙漉き体験など隠れた地域資源をPR大使の千葉すずさんの知名度を活用してメディアへ宣伝すべきと考えるが、所見を問う。

産業経済部長 ユネスコ無形文化遺産の3紙を集めて第1回和紙サミットを開催し、千葉さんも参加予定となっている。



第1回和紙サミット

荷捌所整備に 地元関係者の意見反映を



西村 健

質問 「10年後に水揚げ100億円をめざす」主要事業の概要と進捗状況について問う。

産業経済部長 ①沖底漁業5ヶ統のリシップ事業に取組み、まき網漁業2ヶ統の存続対策については協議中②水産庁から高度衛生管理基本計画が公表され、浜田漁港荷捌所の整備に取組み、JFしまねが冷凍冷蔵庫の整備を検討中③瀬戸ヶ島埋立地活用の可能性調査に着手した。

質問 高度衛生化という点では、荷捌所の整備だけではなく、生産から販売までの全工程での衛生化が必要ではないか。

産業経済部長 加工・流通・販売においては民間事業者の取組に可能な限り協力していく。

質問 荷捌所の設計にあたり、地元関係者の意見を反映させてほしいとの声にどう応えるのか。

産業経済部長 今後、基本計画の策定にあたって組織の活用も含め、意見集約のあり方について検討する。

質問 冷凍冷蔵庫の整備方針策定主体と整備主体について問う。

産業経済部長 浜田市が整備方針を策定し、JFしまねが整備主体として新規整備について検討する。



浜田漁港4号市場

家賃不正受給で訴えられて いるのは事実か？



森谷 公昭

質問 市長の家賃不正受給の裁判は事実か？

総務部長 浜田市が訴えられているのは事実だ。

質問 有罪なら市長を辞職すべきではないか？

市長 答弁は控えたい。

質問 消防職員の処分を公表しないのはなぜか？

総務部長 公表基準に基づいて判断した。

質問 君市踏切が7億円以上かけて移設されると、駅裏に人が流れ、駅前が苦しくなる。今のままが良いのではないか？

都市建設部長 必要だ。

質問 神楽・歴史館は14億円かつ毎年5千万円の維持費がかかる。デジタル化を優先すべきでは？

地域政策部長 映像だけでなく、本物を見ることが必要だ。

質問 下水道事業費200億円もかかる。市の負担が大きいのではないか？

総務部長 基準により非開示とした。

質問 下水道事業費200億円もかかる。市の負担が大きいのではないか？

担がない浄化槽を進めるべきではないか？

上下水道部長 そういう考え方もある。

質問 JT跡地に県営住宅を作る一方で、空き家バンクを進めるのは矛盾していないか？

都市建設部長 建替えてあり影響はないと考える。

質問 断水時、市長は和歌山県に出張に行った。その出張内容が黒塗りではないか？

総務部長 基準により非開示とした。

質問 財政状況がひつ迫しているのに、原井小跡地や那賀会館など遊休資産の売却が進んでいない。本年何%の現金化に取り組む考えなのか？

総務部長 今年度の売却予定資産は面積ベースで1%もない。財政効果が得られるよう、今後は積極的に売却していく。

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

地元高校から県立大学への 推薦枠の確保は！



澁谷 幹雄

質問 浜田市は、官民一体となって物心両面で島根県立大学を支援しているはずだ。浜田商業高校と浜田水産高校からも県立大学へ入学できるよう、推薦枠確保のために、リーダーシップを発揮すべきではないか？

地域政策部長 地元高校の意見をしっかりと大学に伝え、地元出身の学生が一人でも多く入学できるように努力する。

質問 財政状況がひつ迫しているのに、原井小跡地や那賀会館など遊休資産の売却が進んでいない。本年何%の現金化に取り組む考えなのか？

総務部長 今年度の売却予定資産は面積ベースで1%もない。財政効果が得られるよう、今後は積極的に売却していく。

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

質問 島根県教育委員会

は教員の受験資格の年齢制限を撤廃した。浜田市も職員採用の年齢制限を撤廃すべきでは？

総務部長 難しい問題だがその都度検討したい。

質問 教育委員会は、学校の現状を掴んでいない。何故、飛び込みで学校現場の苦勞を掌握しようとしなのか？ 基礎学力も、どのくらいの児童が九九の掛け算を覚えな

まま、中学に進学しているか、知っているのか？

教育長 数字は知らない。

一人でも多くの、地元高等学校からの入学者が望まれる、島根県立大学

一人でも多くの、地元高等学校からの入学者が望まれる、島根県立大学

一人でも多くの、地元高等学校からの入学者が望まれる、島根県立大学

一人でも多くの、地元高等学校からの入学者が望まれる、島根県立大学

一人でも多くの、地元高等学校からの入学者が望まれる、島根県立大学

一人でも多くの、地元高等学校からの入学者が望まれる、島根県立大学

一人でも多くの、地元高等学校からの入学者が望まれる、島根県立大学

一人でも多くの、地元高等学校からの入学者が望まれる、島根県立大学

安心できる子育て支援は 確保されているのか？



上野 茂

質問 平成27年度より放課後児童クラブの対象年齢が6年生まで拡大されたことによる利用者数の推移を問う。

健康福祉部長 浜田市は1年前倒しで6年生まで拡充している。平成25年523人、26年546人、27年640人、28年710人で年々増加している。

質問 平成25年より200名近く増えているが、支援員の確保と、仕事をどう分析しているのかを問う。

健康福祉部長 支援員は日々、事前準備をはじめ、運営時間中の児童への対応、保護者との連絡帳のやり取り、下校指導、その他の事務など、利用児童数の増加に比例して仕事量も増加しており、人数やクラブの実情に

じ、支援員を加配することとしている。

質問 学校給食における地元食材の活用割合は県内8市で最も高い。平成22年より1食あたりの経費や公費負担が大幅に削減となっているが、それでも統合を考えているのかを問う。

教育部長 厨房機器の更新に多くの費用が必要となることと、地産地消の動向や学校統合計画審議会の状況を視野に入れ、少し時間をかけ判断する。

健康福祉部長 支援員は日々、事前準備をはじめ、運営時間中の児童への対応、保護者との連絡帳のやり取り、下校指導、その他の事務など、利用児童数の増加に比例して仕事量も増加しており、人数やクラブの実情に

じ、支援員を加配することとしている。

質問 学校給食における地元食材の活用割合は県内8市で最も高い。平成22年より1食あたりの経費や公費負担が大幅に削減となっているが、それでも統合を考えているのかを問う。

教育部長 厨房機器の更新に多くの費用が必要となることと、地産地消の動向や学校統合計画審議会の状況を視野に入れ、少し時間をかけ判断する。

健康福祉部長 支援員は日々、事前準備をはじめ、運営時間中の児童への対応、保護者との連絡帳のやり取り、下校指導、その他の事務など、利用児童数の増加に比例して仕事量も増加しており、人数やクラブの実情に

じ、支援員を加配することとしている。



学校給食

深刻化する熊・イノシシの被害について！



飛野 弘二

質問 熊の捕獲状況を問う。

産業経済部長 有害駆除2頭、錯誤捕獲5頭。

質問 熊目撃情報件数と地区住民への周知方法を問う。

産業経済部長 今年度104件となっている。住民への周知方法は自治区毎に異なる面もあるが、さまざまな手段で住民へ広く周知している。

質問 目撃情報104件で8件の防犯メールを配信しているが、運用基準を問う。

総務部長 自治区間で温度差があるので一部見直しを検討する。

質問 イノシシの捕獲実績を問う。

産業経済部長 平成27年度1899頭のうち有害駆除によるものは1201頭、狩猟によるものは

699頭である。

質問 捕獲数の急増で捕獲補助金が不足するのではないかと問う。

産業経済部長 不足しないよう誠心誠意努力する。

質問 第1回和紙サミット開催に際し、楮生産者の位置付けを問う。

産業経済部長 楮生産者の保護及び後継者育成に取組んでいく。

質問 「紙すき唄」を披露できるか問う。

産業経済部長 今回のサミットで紹介する。



「紙すき唄」紹介風景

議会報告会を開催しました

日 時	開催会場	参加人数
5月11日(水)	今福公民館	30
	三隅公民館	10
5月12日(木)	周布公民館	3
	石見公民館	17
5月13日(金)	弥栄会館	18
	旭支所	22
5月14日(土)	美川公民館	10
	国府公民館	4
	長浜公民館	13
	浜田公民館	9



報告会の様子

このたび議会報告会を5月11日から5月14日までの4日間市内10会場で行之、多くの方に参加していただき、ありがとうございました。

議会に対する意見・要望について、議会内部で検討を重ね、回答とともに主なものを14ページに掲載していますのでご覧ください。議会に関すること以外は、市長に意見・要望として報告させていただきます。

市民の皆さまから貴重な生の声をたくさんいただきました。今後も市政運営に反映できるよう、運営方法、周知の方法など引き続き検討しながら、開催したいと考えています。

今回の主な意見・要望等と議会からの回答

意見	熊本震災募金活動には心温まった。ご苦労様でした。
回答	このたびの震災にあたり被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。 浜田市議会は、今回の被災地とは議会活動で非常にお世話になったこともあり、議員一同少しでもお役に立てばとの思いから、募金活動を行ないました。ありがとうございました。皆様のご協力によりいただいた募金は、九州市議会議長会経由で被災地に届けさせていただきました。
意見	議会だよりが見やすくなった。
回答	市民の皆さんに議会の広報機能の1つとして、議会だよりがあります。この議会だよりは、10人の委員が中心となって作成しています。議会として、今後もさらにわかりやすくお伝えできるよう工夫していきたいと思っています。ありがとうございます。
意見	ケーブルテレビで議員の活発な意見が見えるが、1人の住民の質問が皆の意見のような言い方はよくない。
回答	議員は、市民の皆様の福祉向上のため、市民の皆様からいただいたご意見や要望を聞き、議会の一般質問などで、市長に届けます。市長に質問しますが、ご指摘を真摯に受け止め、今後気をつけたいと思います。
意見	T P Pに関する請願ではどのような議論があったのか
回答	今回の請願は、「T P P協定を国会で批准しないことを求める意見書の提出について」で、審査は所管の産業建設委員会で行いました。 委員会では、国会での批准にあたり説明不足、浜田市にとっては死活問題などの賛成意見や日本の農業が優れたものを持っているということであれば、マーケットが広がる中で安心安全をテーマに出していく必要があるという反対意見、輸出する農産物という農産政策ではなく田舎を守るという政策が必要という意見もありました。委員会では、挙手採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。 その後、本会議では全議員による採決がありました。採決の前に議員がそれぞれの立場で賛成、反対を表明する討論も行われました。その中で、現在の世界の経済情勢を鑑み国際社会における日本の役割は重要であること、農林水産業への対策は考慮されているという反対意見や今回の協定内容は国会決議に反しており、協定が及ぼす影響について明らかでない、国会で議決するには時間がなく国会軽視であるという賛成意見がありました。最終的に本会議では挙手採決の結果、賛成者多数で採択となりました。 なお、意見書提出に反対の各議員の意見内容は議会ＨＰに掲載しています。
意見	ふるさと寄附の市長裁量については、議会がしっかりとチェックしてほしい。
回答	全国の皆様からいただいたふるさと寄附の使途については、我々議員も非常に注視しています。浜田市の市民福祉向上、経済の発展などのほか、行財政改革効果にも見込まれるところで、本会議の一般質問、委員会質疑などあらゆる機会を捉え、寄附者の意向を踏まえ、市長の裁量についてはチェックしていきたいと考えています。
意見	議会報告会は、意見を言う場なのか、陳情の場なのか。浜田の課題について市民と語る場だと思って参加した。
回答	議会報告会は平成24年度から行っております。平成27年から、議員からの定例会の報告を中心としたもの（報告会）と、地域の課題について議員と市民の皆さんで自由に語り合うもの（井戸端会）に分け、年2回ほど開催をしております。ご指摘のように、浜田の課題について市民の皆さんと語る場です。多くの市民の皆さんに参加していただけるよう工夫を凝らしていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

議会からのお知らせ

9月定例会開催予定



日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1	2	3
				請願、陳情締切り		
4	5	6	7	8	9	10
	開会 本会議 議案の提案説明	→ 本会議 個人一般質問				
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 議案質疑 予算決算委員会	福祉環境委員会	総務文教委員会	産業建設委員会	予算決算委員会 (9月補正予算)	
18	19	20	21	22	23	24
		休会	休会		予算決算委員会 (総務文教)	
25	26	27	28	29	30	10/1
	予算決算委員会 (福祉環境)	予算決算委員会 (産業建設)	予算決算委員会 (予備日)	休会	予算決算委員会	
2	3	4	5	6	7	8
	休会	本会議 表決 閉会				

開会10：00（変更になる場合があります）

議会を傍聴しませんか

本会議や委員会は広く公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。ぜひ、お気軽にお越しください。

平成28年7月1日から年6月定例会の
個人一般質問の録画配信を開始しました。



市議会HP → 広報広聴 → 本議会
録画配信

ぜひ、ご覧ください!!

平成27年度政務活動費収支報告書を
議会HPで掲載しています。



市議会HP → 議長交際費
政務活動費

原井小学校3年生が、6月3日に社会科の授業 「市内の建物を知ろう」で議場を見学しました。



みんな興味津々でにぎやかな議場見学となりました。

あ
と
が
き

4月16日に起きた熊本地震。追い打ちをかけるように暴風雨災害が拍車をかけました。災害といえば、今の浜田市では「熊」被害騒動です。被害も様変わりしてきて、これまでの「鈴」などでの被害回避は決定的ではなく、捕獲処理の見直しをはじめ、ブナの植栽、中山間地の山際に緩衝帯を設けるなど根本的な対策をする必要がでてきました。今年度の熊目撃情報は急増し123件となりました。さて、今回号から、この「議会だより」が少し変わりました。引き続き市民の皆さまに喜ばれ、愛される紙面を目指してまいります。ご意見をお待ちしています。

(記 飛野 弘二)

【編集委員】

牛尾	飛野	野藤	小川	柳楽	岡野	足立	串崎	芦谷
昭	弘二	薫	稔宏	智子	克俊	豪	利行	英夫
委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長

【議長なんでもメール】

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市議会HP→議長なんでもメール

★この議会だよりは1部あたり42・56円でできています。